

平成15年度 文学部 授業計画表[syllabus]

| | | |
|------------------------------------------------------------------------------------|-----|----------------------------------------------------------------|
| 科目名 卒業研究 I (算数) (英文名) Graduation Research I (Mathematics) | 2単位 | (ふりがな) しまづ しのぶ 担当者 島津 忍 e-mail sshimazu@kokushikan.ac.jp |
| 授業のねらい: 論文作成のためのテーマ設定と資料収集 | | |
| 概要: 算数科の教科構造を概観し、各領域の発展系統をとらえ算数教育の研究や課題を知って卒業研究の基盤を固める。さらに、研究テーマに即して必要な研究資料の収集を行う。 | | |
| 教科書: 小学校学習指導要領解説(算数科編)文部科学省 小学校算数教科書 | | |
| 参考図書: 数学的な考え方シリーズ 東洋館出版 | | |
| 評価法: 資料まとめ90%、研究活動10% | | |
| 具体的評価方法等: 春期レポート提出、秋期論文資料提出 | | |

【授業計画】

| 回数 | 講義テーマと概要 |
|------|-----------------------------------------------------------------------|
| 第1回 | 講座のガイダンス 本講座の趣旨、目的について知り、進め方の概略を把握する。 |
| 第2回 | 過去の論文 これまでの論文の実際に触れ、卒業研究 I との関連を知る |
| 第3回 | 今日の算数教育の諸問題 算数教育界の課題について知り、自己の研究課題を協議する |
| 第4回 | 自己の研究課題(1) 取り組みたい課題に就いて、教科書、文献等で調べ考える |
| 第5回 | 自己の研究課題(2) (プリント) 各自の卒業研究主題の価値と研究のポイントを発表し合う各自の卒業研究主題(1次案)について発表し協議する |
| 第6回 | 自己の研究課題(3) (プリント) 各自の卒業研究主題の価値と研究のポイントを発表し合う |
| 第7回 | 自己の研究課題(4) 課題追究のため、文献、研究方法等1次構想を作成する |
| 第8回 | 自己の研究課題(5) 課題追究のため、文献、研究方法等1次構想を作成する |
| 第9回 | 研究主題設定の理由 これまでの考えを元にして、研究主題設定の理由をまとめる |
| 第10回 | 研究主題の理解 各自の主題の趣旨を発表しあい、主題の理由を深める |
| 第11回 | 論文の文章表現 主題設定の理由の文章表現について吟味し、加除修正する |
| 第12回 | 文献の調査方法 1つの調査項目を定め、文献等によって調査する方法をさぐる |
| 第13回 | 主題追究の仕方(1) 春期のまとめとして、これまでの考えを構想としてまとめる |
| 第14回 | 主題追究の仕方(2) プリント(夏休みの課題) 春期のまとめとして、これまでの考えを構想としてまとめる |
| 第15回 | 主題の追究 夏の間調べた事をもとに協議し、今後の在り方を探る |
| 第16回 | 研究の中心点 研究主題に関連して、研究すべき中心点について考察する |
| 第17回 | 自主的追究(1) 研究主題や内容について自主的に、創造的に研究をすすめる |
| 第18回 | 自主的追究(2) 研究主題や内容について自主的に、創造的に研究をすすめる |
| 第19回 | 自主的追究(3) 研究主題や内容について自主的に、創造的に研究をすすめる |
| 第20回 | 学習指導案 主題にそって指導案を作り、あらゆる角度から検討する |
| 第21回 | 模擬授業 指導案にそって模擬授業をし、課題の達成状況を検討する |
| 第22回 | 研究方向の検討 指導案や模擬授業によって、研究方向を再検討する |
| 第23回 | 研究のまとめ 1年間の研究内容をこれまでの経過にもとづいて整理する |
| 第24回 | 研究のまとめ 研究のねらい、課題、方法、解明のストラテジイを纏める |
| 第25回 | 研究のまとめ 1年間の資料を整理してまとめる |
| 第26回 | 研究のまとめ 1冊にまとめ、見出しを付けて提出 |